

2026年3月18日

プレスリリース

(公財)日動美術財団
笠間日動美術館

笠間日動美術館 2026(令和8)年度 特別展

Exhibition Schedule 2026.2-2027.2

拝啓

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

下記の通り、2026年度開催の展覧会をご案内いたします。ご取材・ご紹介を賜りますよう、お願い申し上げます。

なお都合により変更になる場合がございます。ご了承ください。

敬具

記

渡邊榮一回顧展 -少年王國譚-

Eiichi Watanabe Retrospective Exhibition: Tales of the Kingdom of Youth

2026年2月21日(土)-4月12日(日)

1970年、渡邊榮一は日動画廊主催の「第1回版画グラン・プリ展」にてグラン・プリを受賞し、画壇にデビューしました。以降、版画の制作活動を経て、油彩を主にしたミクストメディアの手法で独自の世界観を迫及しています。長年取り組んでいるテーマである『少年王國』は、渡邊が主人公の少年と化して登場する夢の物語です。近年は、著名な画家や絵画へのオマージュなども描かれます。本展では、1969年から現在にいたる渡邊の画業をたどります。



《アリス、君はどっちなの?》2020年 笠間日動美術館蔵

97歳セツの新聞ちぎり絵原画展

Kimura Setsu Newspaper Chigiri-e

2026年4月18日(土)-7月20日(月・祝)

熱々の鍋焼きうどんや、青々とした梅がたくさん詰まった梅酒、カラッと揚がった海老フライ。今年で97歳になる木村セツさんは、90歳からちぎり絵制作をはじめました。身近な品々を題材に、日々コツコツとちぎり絵の制作を続けています。新聞からできているとは思えない、その緻密な作品は、生き生きとして、温かみと遊び心に溢れています。

本展は、最新作を含む180点以上の原画を紹介する関東圏初の大規模展です。作家の日常がうかがえる写真パネルや、制作風景、インタビュー動画も紹介します。



《鍋焼きうどん》2025年 ©Setsu Kimura

さかなクンのギョ苦楽展

同時開催 第10回全国子ども絵画コンクール in かさま

2026年7月25日(土)-9月27日(日)

お魚の情報や海の問題について発信しているお魚博士のさかなクンが、笠間日動美術館で二度目の展覧会を開催します。可愛いハコフグから、^{こわおもて}強面のオオカミウオまで、色んな海の仲間が登場します。

さかなクンが描くさまざまな海の仲間たちを通して、海の豊かさをはじめとするよりよい社会をつくるためにどんなことができるのか、ギョ一緒に考えてみましょう。

《レッツギョー！さかなクン》ミクストメディア



人間 鴨居 玲

Rey Camoy: Alongside Photographs by Emiko Tomiyama

2026年10月3日(土)-12月20日(日)

「自画像の画家」と称され、自己投影の作品を描いた鴨居玲。作品には鴨居の内面が表現され、見る者の感情に訴えかけてきます。一方、作品からは見えてこない「人間 鴨居玲」も存在します。

鴨居玲とはどのような人物だったのでしょうか。これまでその多くが未公開だった、素顔が写る貴重なポートレートから、「人間 鴨居玲」を紐解きます。

スペイン、ラ・マンチャ地方の小村、バルデペーニャスにおける村人たちとの交流や、親しい友人たちと過ごすひととき、そして作品に向き合う画家の姿を、カメラは赤裸々に捉えています。この度は、作品61点、富山栄美子撮影写真75点により構成します。

撮影：富山栄美子



ねこ写真家 関由香 ねこと一緒に、今日もいい日。

Yuka Seki, Cat Photographer "It's a good day with cats"

2027年1月2日(土)-2月28日(日)

つくば市出身、現在はタイ・バンコクを拠点に活動する、ねこ写真家 関由香。これまでに約50冊の写真集を手がけています。「ねこと一緒に、今日もいい日。」をテーマに、アジアや日本の島々で暮らすねこたちを撮影。ねこたちの日常を温かいまなざしで見つめ続けています。

本展では、台湾や日本で撮影した作品に加え、タイで撮影した新作も紹介します。2018年に当館で開催した「台湾ねこうら展」に続き、地域に馴染んで暮らすねこたちの愛らしい仕草や表情を通して、ねこと人とのやさしい時間をお届けします。



お問い合わせ

笠間日動美術館 学芸部

〒309-1611 茨城県笠間市笠間978-4

Tel:0296-72-2160 Fax:0296-72-5655

鴻村 komura@nichido-museum.or.jp 大友 otomo.nichido@gmail.com

金澤 kanazawa@nichido-garo.co.jp (日動画廊 Tel 03-3571-2553)